

平成28年度第2回柴田町男女共同参画推進審議会 議事概要

【日 時】

平成29年1月26日（木） 午後3時～5時

【場 所】

柴田町ふるさと文化伝承館2階 多目的ホール

【出席者】

柴田町男女共同参画推進審議会委員 8名（別紙のとおり）※2名欠席
事務局（柴田町まちづくり政策課） 2名

【資 料】

第4次しばた男女参画プラン 施策事業評価シート

【議 事】

進行：事務局（平間）

※審議会は公開とされているため、録音機器で協議を録音したものをもとに議事概要を作成し、町ホームページで公開する旨を説明。

1. 会長あいさつ

皆様、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく申し上げます。

11月20日に、仙台の男女共同参画のイコールネット仙台が企画した研修会がありました。「飯館村のかあちゃんたち土とともに」という、主人公の80歳を越える2人の菅野さんが、自分たちが原発の逆境に負けないで村を起していかなきゃと、とても頑張っている姿が映像に映し出されてとても印象的でした。この方達は今、伊達の仮設住宅で暮らしていらして、12月に2回ほどこの方を訪問し、原発事故からどんな暮らしだったのか、どんな風に過ごしていきたいのかなど聞きました。80歳といえども元気があり、戦争も体験されているので負けないぞ！という気持ちがすごく印象的でした。

そして今回は、次世代育成のために看護学生を連れて行きますので、体験したことを話してもらいたいと、連絡しました。

少し話は転じますが、1月に田部井淳子さんのドキュメンタリー番組を見る機会があったんですが、この方はエベレストに女性たちだけで初登頂したのが36歳の時だったということ。そして世界に類をみないほど、貧乏登山隊だったということ。それから、雪崩で酸素ボンベや食料をだいぶ失い、かなり「ダメだろう」と言われている

中で、「私は残ります」と淡々とする田部井さんたちの意思はそこで固まり、天候にも恵まれ登頂できたようなことをまとめておりました。

そうした逆境の中でも、あせらず、ゆとりを持ち進んでいける力というのは、男性女性ともに力を合わせていかないといけないのかな、ということを感じました。今日は、忌憚のない意見をどうぞよろしくをお願いします。

2. 議題

審議 平成28年度事業計画の中間報告について

～資料から要点のみ事務局から説明～

<会長>

ありがとうございました。事務局から説明いただきましたが、委員の皆さんから資料を参照してご質問その他ご意見などお伺いしてよろしいでしょうか。

<委員>

計画作成時の数字と目標値があり、達成された、作成されたということなのですが、結果はそれで良いが、その中身は精査されているのか。

<会長>

目標値と結果は、数値など比較すれば分かります。そのプロセスにおいては、その課独自の解釈の仕方があります。全部この審議会でもプロセスも審議していくというのは、かなり膨大です。ですから、こういう風に評価しやすい書式に変えたのは今年からで、試みとしては評価できると思いますが、確かに読んでいて書き方に違いも見受けられました。担当課においてもまだ慣れていないということもありますので、その辺は差し引いて見なければならぬと感じますが、甚だ、その課においては少し頑張ってもらいたいと思うところをご意見いただけますか。

<委員>

数字の分は、分かります。例え達成していなくても頑張ったということもこれを見れば分かりますが、例えば18ページでは、マニュアルを作成したとありますが、どんなマニュアルで中身が機能しそうなのかどうかは、我々が見て評価しなくてはいけないのではないかと感じます。

<会長>

目標値が作成ということですから、難しいですね。

逆にいえば、目標値として作り、何割の方が理解出来たかの方が目標になりますよね。出来たから、万々歳というのは少し違うのではないかと思いますか。

<事務局>

町民環境課の担当とお話をした時に、窓口で数値目標を掲げるのは大変だということ。例えば、DVの相談を受けるのが何件から増減するなどではなく、今何が出来るのかと考え、窓口対応のマニュアル化がされていないので、ここはやむなく目標値を‘作成‘という表現にしています。

<委員>

作成はいいと思います。しかし例えば、窓口に来られた方にアンケートを取るなど、以前と違って良くなった、悪くなったという形で評価は出来るのではないかと。

<事務局>

DV被害を訴えた方がいれば、その加害者が被害者を追跡しようとして役場の窓口に来た場合、その避難情報は知られないようにシャットアウトする必要があります。このような窓口業務について相談が何件とか、シャットアウトした実績が何件などの数値は求められません。こうした対応については、職員が統一した見解を持っていないためマニュアル作成という目標を定めたということでご理解いただきたいと思います。

<会長>

DVとは、とてもデリケートな分野で数字として表せない訳ですね。

<委員>

でも、作成という目標値がおかしい。

<会長>

そういったところを各課にフィードバックしていければいいと思います。

<副会長>

この審議会がどこまで町に対して意見を言える立場にあるのか。大きなプランを作り、「こういうことをしてください」だけなのか、もっと突っ込んで各課に、「ここまでこういうことをして下さい」と言える立場にあるのか。その辺の問題だと思います。

単に結果だけでなく、どのような形で達成して外部からどのような評価が得られたのかまで分かると、納得できる書式になるのだと思います。

<委員>

私は、結果が数字で表せるものと表せないものがあると思うので、当初見込んでいた目標に向けて、まずは取り組んでもらえたらいいのかなと思います。

<委員>

私が思うのは、事業尺度 D で町単独で予算や体制を整えば達成が見込めるということなのですが、11ページの保健師などの専門職員の増員では今回増員なしということは、町での予算がたたなかったから増員されなかったのでしょうか。

<事務局>

採用するだけの予算はありますが、最終的に採用に至らなかったため、増員できていない状況にあります。

<委員>

これだけ見ると達成したかどうか分かるのですが、実際の中身がよく分からないところが多少ありました。15ページの子ども家庭課さんの、家庭支援員の派遣について目標値が5件に対して、利用者がいなかったということですが、ひとり親だけでなく、対象を広げたら利用者がいたのではないかなと思いました。

<事務局>

周知しても、自分の家に入られるのを嫌がる方が多く、実際利用する方がほとんどいないというのが現状なのかなと思われます。

<委員>

各課とも頑張っていますが、そのうち D・E の評価をしているのが70パーセントを占めていました。D・E という評価が、やる気になればやれるぞという評価で感動しました。ひとつ目玉にするなら福祉課かなと。男女共同参画審議会の目玉として評価したほうがいいのではないかな。この D と E の評価が集まっているのが、福祉課と子ども家庭課。ここに注力することで、花のまちというだけでなく、福祉と子育てにもやさしい柴田町になれるのではないかな。

もうひとつ。先ほど予算の話も出ましたが、沢山の予算が付いている事業は町も力を入れている事業と判断できると思うが、本様式に書く事業の予算を記載することは可能か。

<事務局>

掲載は可能です。

<会長>

では次回から予算の掲載についてお願いいたします。その他、評価シートの中で、ご意見はありますか。

<委員>

話が戻ってしまいますが、職員が自分達のためにマニュアルを作成したというだけでなく、そのマニュアルを元に、ポスターを作って啓発したというように取り組んでいくべきではないか。

<事務局>

関係課の担当で連絡会議を作っているので、ここで出た意見などは各担当に伝達します。

これからの作業ですが、実績を上げるために、これまでのプロセス等を振り返り、各担当で自己評価します。それが平成29年度の計画に反映されていく流れです。今回意見のあった実績の分かりづらい部分の修正を踏まえ、より分かりやすい内容になるよう働きかけます。翌年度の第1回目の審議会でご報告できたらと思います。また、施策の基本情報ですが、これは、第4次プランの中に掲載されている内容そのままとなっているため変えることは出来ません。計画策定した段階から各年度の計画・実績・評価というところで、5年間通して分かるような構成となっておりますのでご理解くださいようお願いいたします。

<会長>

それもまた、もう少しブラッシュアップした文言が出てきますので、とりあえずここで収まりをつけておいたほうが無難です。次回まで、少し時間を置くことにしたいと思います。私の個人的な意見としては33ページの自主防災は、意外と女性たちは力があると思いましたので、ぜひ目標値を頑張って上げていけたらと思います。以上です。一通り、ご意見を伺ったので、審議に関してはよろしいでしょうか。

<会長>

それでは、報告に移りたいと思います。平成28年度男女共同参画推進事業について事務局、お願いします。

報告 平成28年度男女共同参画推進事業報告について

～事務局から事業実施報告～

<委員>

今回、好評であったならば核になる人を作るのに継続したらいいのではないのでしょうか。また、新しいものというよりはこんなにやってみたいという意見が今までにないくらい、担当者の感触としては良いいってことですよね。

<事務局>

感触としては、少人数だったことや、講師と参加者の年代が近いということもあり、積極的な話し合いや発言が見られ、大変有意義な事業だったと思います。

<委員>

大人数で大きくやったからいいものではなくて、核になる人を作っていくという点では、成功例だったという風に私も感じました。参加した人たちがもっと成長できるように、こういう場をまた作ってあげて、何回か同じメンバーでそれを実行していく、一人では出来ないけれど同士が集まるとワクワク感も違ってくるし、子育てしながらでも、何か出来るかなと思ってくると思います。そういう場を回数多く設けて更に充実させ、同時進行で新しいものとこれを深めるやり方を取ると、更に深まっていくのではないかと、報告を見て希望を感じました。そうして、いろんなところにチカラが点在してくると、柴田町に若い人が集まってきやすい雰囲気になるのではと。

<会長>

30代は力があります。冒頭あいさつで申し上げた田部井さんも、36歳でエベレストに登りましたから。子育てをしながら。食べることも大事だと思うので、「食」と何かを組み合わせるとか。

<委員>

一過性になってしまうと、役場もやって終わりの評価になってしまう。参加者を継続して、見守りながら育てることをしていくべきだと思います。特に若い人には。そういう環境が整っていないと、やはり人が育ちにくいので、育てる環境をセッティングする・マッチングさせることをしてもらい、なにかいい例が他にあったらまた、やってみてはどうか。

<委員>

私も、このような評価があるなら、同じく継続することがいいと思います。ですが、人が集まらなくて悩むなら、誰でも顔で呼べるような人を呼んでみてはどうか。赤字覚悟で。一度、それで人が集まれば、来た人は次も期待できる。

<副会長>

そこが難しいところです。多く集まる方がいいのか、今まで話し合ってきて、なかなか地域の女性のリーダーが育たないということで、どうしたら女性リーダーを育てることができるか。大沼さんが言われた様に、参加した人数が12名と言えど、盛り上がっている気持ちがあれば、その気持ちを大切に。例えば、同じ講師に切り口を変えてもらって、最低その12名に参加してもらい新たに募集する形で。その12名の方に、「前回講座に参加して、この半年、1年で何を試みたか」聞く。しなければなくてもいい。それを、2度3度と続けていけば、その12名が5名と人数が減ったとしてもその中からリーダーになってくれる人がいれば、今まで男女共同参画としてやってきた事業としては成功なのかなと。新しいリーダーが出来たということになれば、それを確かに繰り返していく。確かに、著名人を呼べば参加者は一杯になるでしょうが、結局は一過性のものであって繋がって行かなければ意味がない。

<会長>

対象者を、子育て世代に限定せず、関心のある人でいいのではないのでしょうか。そして、今回参加した人が良かったよとまた、お友達に声を掛けますよね。

<副会長>

良い講師だったら、何年間か継続して来てもらいその町を見てもらうというのも1つの手だと思います。

<委員>

やはり、そんなにすぐ人は育つものではないで、ある程度の年数を持って望まないという良い人材は生まれてこないと思います。いい講師を呼んだからは、子どもをいい塾に入れたから東大に入れるわけではないのと一緒。ある程度じっくり腰を据えてやることで、最終的には花開く時が来ると思う。そうした環境をバックアップする体制を役場なり、周りが作っていかないと、人が育つまでにはいかないと思います。

<委員>

私もそう思います。しかし、バックアップするためには事業をやっただけではダメで、その興味をもった12人を、更にフォローする何かすることが必要なのでは。

<副会長>

「12人がよかった」で終わってしまったら何も始まらない。
その12人が、新たなリーダーに育つように、こちらでバックアップしていかなくてはいけないと思います。

<会長>

ここで騒ぐより、もう1回ぐらい講座を開いてみてはどうでしょうか。
他に何か、委員は「こんな風にやったらいいのでは？」というアイデアはありますか。

<事務局>

複数回実施するという事も考えながら、また、今年度は平日の午前中で、幼稚園や学校に子どもが行っている時間帯で選びましたが、参加者から後から聞いた話では「仕事している人も行きたかった」というのを聞きました。講師の先生などの都合もありますが、土日での実施も検討してみても考えていました。それから次回は子育て世代だけではなく、関心のある人ということに対象の枠を広げて考えてみます。

3. その他

<事務局>

平成29年2月23日（木）に
「男女共同参画の視点からの仕事と介護の両立セミナー」
男性の育児参加が増えている中、男性の介護参加のために企業向けセミナーを行います。

4. 閉会

お忙しい中寒い中、お集まり頂きありがとうございました。このメンバーでだいぶ慣れて、いろいろな意見が出るようになって来ました。ぜひ次回も忌憚のない意見を出せるようによろしくお願いします。ありがとうございました。